

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2014

November
No.1033

11月

表紙 本別中学校強歩大会



秋の交通安全運動

交通安全キャンペーン

9/24



交通安全母の会

9/22



北海道警友会十勝支部本別地区

交通安全を呼び掛ける

北海道警友会十勝支部本別地区（坂井久恵地区長）の会員9人が9月22日、交通安全母の会（田西喜代会長）の会員4人が9月24日、北8丁目ふれあい公園で交通安全キャンペーンを行いました。各会員からは、道行くドライバーへ交通安全啓発チラシや夜光反射材などを手渡ししながら交通安全を呼び掛けました。



交通安全タスクリレー決意表明



北8丁目ふれあい公園で行われた交通安全キャンペーン

9/25

シートベルトをしっかり締め、安全運転を

本別地区交通安全協会（長谷川隆司会長）主催による交通安全タスクリレーが9月25日、本別・足寄・陸別の三町で実施され、交通安全の願いが込められたタスキが本別町から足寄町へ引き継がれました。本別警察署内で行われた出発式では、佐々木裕作署長のあいさつの後、本別町交通安全協会（長谷川隆司会長）の朝日基光副会長が「地域住民に対し交通安全マナーの普及を図ります」と決意表明を宣言。引き続き北8丁目ふれあい公園で交通安全キャンペーンが行われ、両会会員と柏木町交通安全防犯部（北山信孝部長）の部員ら計約30人が雨の中、「シートベルトをしっかり締めてください」などとドライバーへ声を掛けながら、交通安全の徹底を訴えました。

秋の

交通安全運動



人の波運動

9/22

本別町秋の交通安全街頭啓発「人の波運動」。約350人が北1丁目から北4丁目の国道242号線沿線を通る車に交通安全を呼び掛けました。

私たちの生活の一部となっている自動車は、便利な反面、一歩間違えると人生を大きく揺るがす悲劇を生みます。9月に入り十勝管内では死亡事故が多発し、秋の交通安全運動期間を前に今年は、異常な事態となりました。こうした事態を受け、町内では各団体が危機感を強め、悲惨な交通事故を一つでも減らそうと、農産物の輸送繁忙期や行楽シーズンに加え、日没が早まり交通事故の多発が懸念されるこの時期に合わせた、秋の交通安全運動を展開しました。今後、一人ひとりが「事故に遭わない」「事故を起こさない」意識を持ち、交通ルールを今一度確認し、悲しい事故のない安心安全な社会を目指しましょう。

国民年金

その151

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が送付されます

国民年金保険料は、全額が社会保険料控除の対象になります！

国民年金保険料について所得税や住民税の社会保険料控除の適用を受ける場合には、「領収書」または「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」の添付が義務付けられています。平成26年中に国民年金保険料を納付された人へは、控除証明書が11月または翌年2月に送付されます。年末調整や確定申告の際には、控除証明書や領収書が必要となりますので、大切に保管してください。

11月に送付される人
平成26年1月1日から平成26年9月30日までの間に国民年金の保険料を納付された人

翌年2月に送付される人
平成26年10月1日から平成26年12月31日までの間に今年初めて国民年金の保険料を納付された人
※11月に送付された場合は、翌年2月には送付されません

○「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」に記載されている保険料額に、後から納付した保険料額を合算して申告してください。なお、後から納付した保険料分の「領収書」も添付する必要があります。

○世帯主または配偶者としてご家族の国民年金保険料を納付された場合は、納付した人がその保険料を申告することができます。

詳しくは
住民課戸籍年金担当
011-222-8128



パークゴルフで交流

9/28

帯広信用金庫本別支店（杉村敦善支店長）による第23回信金杯パークゴルフ大会が9月28日、太陽の丘パークゴルフ場で開かれました。この大会は、信金と町民の交流を目的に長年実施されており、同支店職員を含む51人は、優勝目指して4コース36ホールで熱戦を展開しました。



爆音の走りを展開

9/28

十勝5町村で行われる国際ラリー大会「ラリー北海道」が9月28日、上押帯から美蘭別、活込までの林道11.03kmのスペシャル・ステージ本別林道コースで開催されました。美蘭別に用意された観戦ステージでは、道内外から詰め掛けた多数のファンの前をラリーカーが爆音とともに迫力ある走りを展開しました。



思い思いにゴールを目指して

10/2

本別中学校（山口康弘校長・142人）強歩大会が10月2日実施されました。コースは池田町高島の北部地区コミュニティセンターから同中学校までの19km。ピストルの合図で、走り組はタイムを競い、歩き組は景色を見ながら、思い思いのペースでゴールを目指し、爽やかな汗を流しました。



汗を流しながら親睦を深める

10/5

第43回本別町高齢者運動会（町社会福祉協議会主催）が10月5日、町体育館で開かれました。町内9老人クラブから参加した約100人が、3チームに別れて「ジャンケンリレー」、「いくつ入るかな」など7つの競技に挑戦。チームの仲間と協力しながら心地よい汗を流し、親睦を深めました。



限界に挑戦して力走

10/3

本別高等学校（児玉佳範校長・168人）の交通安全強歩大会が10月3日、町内で実施されました。男子は42.195km、女子は30kmのコースに挑んだ生徒たちは、交通安全標語を書いた手作りのゼッケンを背中に付け、道行くドライバーや沿道の人に交通安全をPRしながらゴールを目指しました。あいにくの雨で、途中中止となりましたが、生徒たちは、それぞれのペースで限界に挑戦し、力走しました。



秋は芸術、文化、スポーツの活動やイベントが盛んに開かれます。本別町でも、さまざまな催しが繰り広げられました。子どもから高齢者までの幅広い人々が取り組んだ姿を紹介します。皆さんも、この秋から自分のために何かはじめてみませんか。



秋の夜長に音色や歌声響かせて

9/20

東日本大震災復興支援第43回本別町音楽祭（町文化協会・中央公民館主催）が9月20日、中央公民館で開かれました。音楽祭には町内で音楽活動をする6団体2個人の計84人と特別出演でオーストラリア・ミッチェルからの訪問団、民謡三味線集団Muじょんが出演。演歌や歌謡曲など30曲がピアノや吹奏楽、ギターの弾き語りなどで披露され、約300人の来場者が秋の夜長にさまざまな音色や歌声を楽しみました。会場入口に設置した東日本大震災復興支援募金箱には義援金4,523円が集まり、町を通して宮城県南三陸町へ寄付されます。



優勝目指して全力でプレー

9/27

十勝毎日新聞社本別支局杯争奪第16回選抜少年野球本別大会が9月27日、南球場と弥生球場で開催されました。大会には町内外から5チームの約100人が出場。選手らは家族たちの声援を受けながら優勝目指して全力でプレーしました。成績は次の通り。
優勝＝足寄スラッカーズ
準優勝＝本別レッズ
3位＝仙美里グレートフレンズ



第5回 北海道・十勝トレイルランニング in HONBETSU 10/12
第2回 義経の里スポーツフェスティバル



第2回義経の里スポーツフェスティバル(町教育委員会主催)と第5回北海道・十勝トレイルランニング in HONBETSU(十勝毎日新聞社主催・本別町共催)が10月12日、義経の里本別公園で並行開催されました。両イベントの参加者計約500人は、紅葉が見ごろを迎えた会場でスポーツやゲームを楽しみながら、本別産食材をふんだんに使用したジャンボ義経鍋に舌鼓を打つなど、スポーツの秋、味覚の秋を存分に味わいました。



ゲーム、紅葉に笑顔

義経の里スポーツフェスティバルの会場となった本別公園ステージ前では、ストラックアウトやフリスビーなどのゲームが並び、町内の親子連れやトレイルランニングランナーの家族など約170人が高得点目指して力いっぱい体を動かしました。義経山では、森と川の舎会員の水谷千治さんから4人をガイドに登山も行われ、町内外から32人が参加。落ち葉のじゅうたんを踏み締めながら、鮮やかな紅葉と新鮮な空気を堪能しました。



義経山登山 ガイドの話を聞きながら自然を堪能

オレンジ色に染まる野山を走破

本別町では初開催となったこのトレイルランニングは、野山や森林の中など未舗装の道を走るスポーツ。道内外から参加した、小学1年生から82歳までの約300人のランナーは、本別公園内をスタートし、オレンジ・赤・黄色の紅葉に染まる神居山や浄水場奥のモップの沢林道などを通る23km・13km・4kmのコースを思い思いのペースで駆け抜けました。



登山道を走るランナー



ゲームラリーや昔遊びを楽しむ子供たち



笑顔でゴール 13km・23kmのスタート

平成26年度

町スポーツ賞に山本幸男さん

文化奨励賞に1個人

今年度のスポーツ賞・文化奨励賞が10月20日の町教育委員会で決定しました。受賞者は次の通りです。

スポーツ賞

【功労の部】
山本 幸男 さん
(北5丁目)



昭和52年に本別弓道連盟に入会し、昭和57年10月弓道5段に合格。昭和59

年には錬士号を授与され指導者となり、昭和63年に6段を認許される。長年にわたり選手として活躍され、北海道体育大会等数々の大会において入賞するなど実績を残している。
その傍ら長年同連盟役員を担い、また上部団体では十勝地区弓道連盟理事を務め運営発展に寄与し、各種の講習会や審査会では豊富な技能と指導力を認められ、毎年、講師や審査員を務めるなど人望は厚い。その他、本別町スポーツ指導員や本別町体育協合理事を歴任し、地域のスポーツ振興に寄与している。
また、弓道に対する熱意は抜群で、現在も本別高等学校弓道部の外部指導者として豊富な技能で指導に尽力し、青少年の健全育成に傾注するなど、広く弓道の普及発展に尽力され、本町のスポーツ振興に寄与された功績は誠に顕著である。

文化奨励賞

個人

荒木 夕工 さん
(美里別西上)

昭和37年、本別公民館短歌会に入会し、同年、全国的な組織である短歌誌「原始林」にも所属され、以来一度の休詠もなく投稿されている。後進の指導に尽力される傍ら、本別町民芸芸「沖積土」にも昭和45年創刊当初から現在まで投稿が続けられ、本別町文化祭への出展も絶やさず続けられている。また、全十勝短歌大会では平成5年

から披露者として活躍され、作品は各賞の受賞に続き、平成21年には全十勝短歌大会賞に輝いており、短歌への一途な熱意で練り広げられる活動は高い評価を受けている。これらの業績は、本町の文芸活動に活力を与えるものであり、本町の文化振興に寄与した功績は誠に大きなものがある。

授賞式は
11月3日(文化の日)
午前10時30分
から中央公民館
大ホールで行われ
れます



高齢者日常生活圏域ニーズ調査結果報告

Part 2

住み慣れた「ほんべつ」で
いつまでも健やかに
自分らしく生活するために

町では、平成27年度からスタートする第6期銀河福祉タウン計画（平成27年度～平成29年度）を策定する上での資料とするため、自宅生活している全ての高齢者を対象に「高齢者日常生活圏域ニーズ調査」を行いました。

この調査において全国統一の調査項目に加えて、本別独自の調査として、老人ホーム建て替えや生活の状況、晩年への準備などに着目した内容についても調査しました。先月号に引き続き、今回は「本別独自の調査項目に関する回答結果」についてお知らせします。

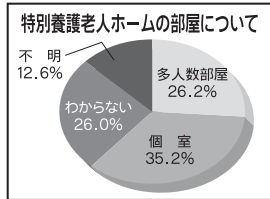


本別独自の調査項目に関する回答結果報告

※比率は四捨五入しているため100%にならない場合があります

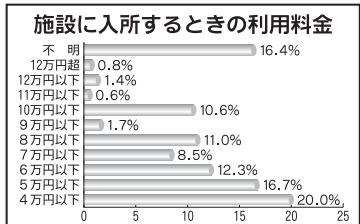
☆特別養護老人ホームの建て替えについて

特別養護老人ホームの建て替えについては、あなたが入所する場合、多人数部屋・個室のどちらを希望しますかの問いには、「個室」が35.2%（780人）で、「多人数部屋」の26.2%（529人）より9ポイント高くなっていますが、圧倒的に「個室」の希望が高いわけではありませんでした。



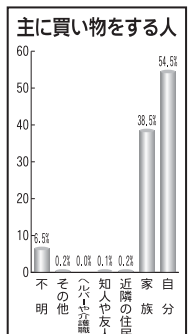
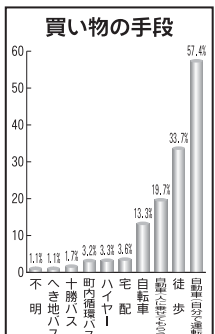
☆施設に入所する場合の利用料金について

施設に入所する場合、月の利用料金（食費等も含む）はどのくらいまでを考えていますかの問いには、「4万円以下」が20.0%（443人）で最も多く、「5万円以下」を合わせると36.7%（812人）になりました。



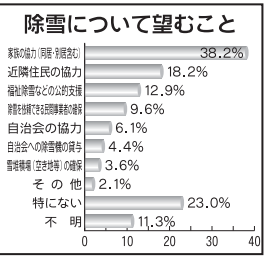
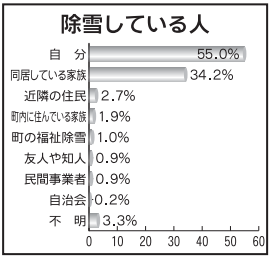
☆「家庭での買い物環境」について

あなたのご家庭での買い物は主にどなたが行っていますかの問いには、このアンケートの宛名の本人である「自分」が行うケースが54.5%（1206人）となりました。また、「自分」で買い物をしている人に、その買い物はどのような手段を使っているか（2つまでに○）の問いには、57.4%（692人）は車を自分で運転して買い物に行くか回答しています。



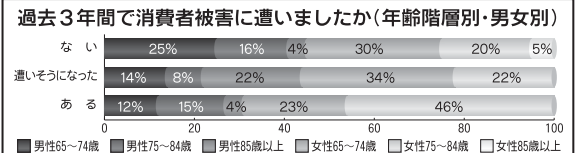
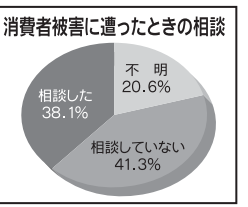
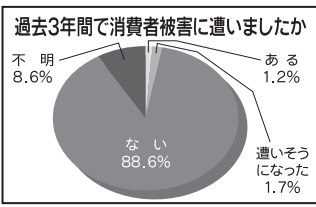
☆「家庭での除雪」について

除雪はどなたが行っていますかの問いには、除雪も「自分」が行うと答えた人が55%と最も多く、除雪について望むことには、38.2%（846人）の問いには、「複数回答」の問いには、38.2%（846人）が同居・別居に関わらず家族の協力を望んでいます。次いで、18.2%（403人）が近隣住民の協力を望んでいます。



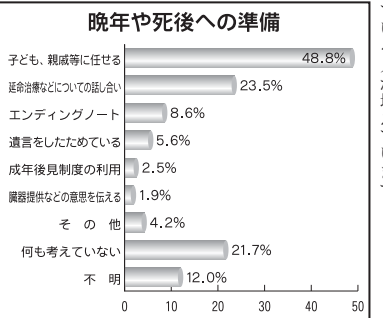
☆消費者問題について

過去3年間に、あなたが「消費者被害（商品・サービスの購入や解約に関するトラブル）」にあったことがありますかの問いには、被害に遭ったことのある人は1.2%（26人）で、遭いそうになったことがあると答えた人は1.7%（37人）でした。「被害に遭った・遭いそうになった」と答えた人の性別は女性が多い結果となり、被害にあったおよび遭いそうになった人に、その時どこかに相談しましたかの問いには、相談した人は38.1%（24人）だけでした。



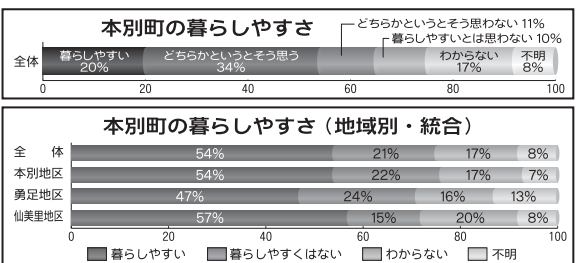
☆「自身の晩年への準備」について

あなたはご自身の晩年や死後について考えたり何か準備をしていますか（複数回答）の問いには、半数近くは、「子ども・親戚に任せる」と答えています。「遺言をしたためている」と答えた人は、5.6%（124人）、「エンディングノート」を書いているまたは今後の活用を考えている人は8.6%（191人）でした。しかしながら、23.5%（521人）が「尊厳死や延命治療については家族と話し合っている」と回答しています。その他「成年後見制度や福祉サービス利用援助事業」を利用したいと考えているのは2.5%（56人）でした。前回調査（平成23年）と比べると「エンディングノート」は4.1%から8.6%となり、晩年や死後について準備している人が増えています。



☆本別町の暮らしやすさ

全体では、「暮らしやすい」「どちらかといえばそう思う」と答えた人を合わせると54%（1,185人）になりました。前回調査と比べても大きな違いはありませんが、「暮らしやすいと思わない」の割合は高くなっています。

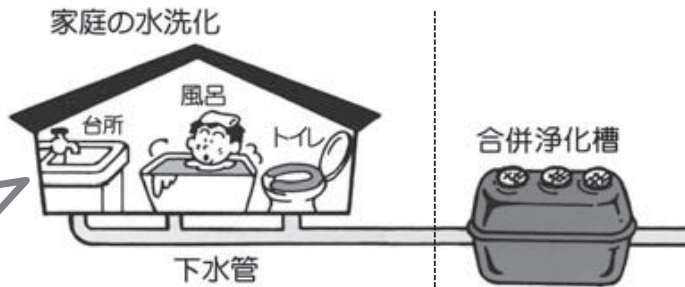


問い合わせ 総合ケアセンター内 高齢者福祉担当 ☎22-8520

本別町全域(本別市街地の公共下水道区域を除く)で合併浄化槽が設置される地域は、平成27年度に設置を希望する人は、平成26年11月末日までにお申し込みください



個別排水処理施設の仕組みと



排水設備 (個人設置・個人管理)

家庭の水洗化の費用は個人負担です

◎排水設備工事費
…約60万円～80万円

(トイレの改造、給水、屋外排水管などの工事で、家の間取り、便器の種類などにより異なります)

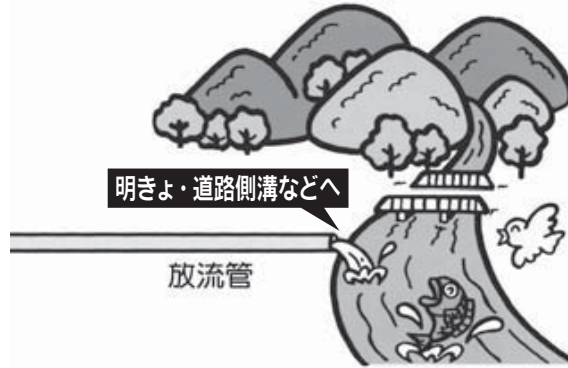
排水設備工事の融資制度
(住宅1戸につき便器2基まで)

区分	金額	適用
融資制度	60万円以内 (便器1基につき)	月1万円の均等償還 (無利子)

新築の場合は該当となりません



受益者が負担する金額



個別排水処理施設 (町設置・町管理)

◎設置時
受益者分担金

- ※10人槽までは100,000円
- ※11人槽以上は、1人槽増すごとに15,000円を100,000円に加算した額となります
(翌年度から年4期、5年分割の20回払い)

◎設置後

●使用料(毎月)

5人槽	…3,183円
7人槽	…3,982円
10人槽	…5,163円
11人槽以上	…10人槽の料金に1人槽増すごとに432円を加算した額

浄化槽の
汲み取り・点検は
町で行います

●電気料(毎月)……約800円～1,800円
(5人槽～10人槽の場合)

浄化槽内のばつ気のためのもので浄化槽の規模により異なります

平成27年度に設置を希望する人は、平成26年11月末日までにお申し込みください

平成11年度から農村部に合併浄化槽を設置する事業を実施してきましたが、平成17年度から農村部に加え、勇足元町・仙美里元町・上本別地区も設置できるようになり実施しております。トイレの水洗化によって、より快適な生活環境を目指すほか、家庭から出る生活排水を浄化して公共用水域の水質の汚れやにこりを防止するのが目的で、合併浄化槽は個人下水道とも呼べる恒久的な施設です。合併浄化槽が設置できる地域は、本別市街地の公共下水道区域を除く本別町全域で、これによりすべての町民(公共下水道区域の未整備区域を除く)がトイレの水洗化および生活排水の処理が可能になります。



お申し込み
お問い合わせは
建設水道課
水道・下水道担当
☎22-8122

『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』 に基づく健全化判断比率等を公表します

町のホームページ <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/> でもご覧いただけます

『地方公共団体の
財政の健全化に関する法律』
の規定により毎年度地方公共団体の
決算状況を連結ベースで財政分析する、
健全化判断比率等の算定および
公表が義務付けられています。

地方公共団体の財政の 健全化に関する法律とは

これまでの自治体再建法制では、地方公共団体の普通会計において赤字額が標準財政規模の20%（都道府県は5%）を超えるときなりレドカードが出て財政再建団体となり、イエローカードともいえる注意喚起の段階がありませんでした。また、特別会計や企業会計にいくらか累積赤字があっても財政再建団体とはなりません。

この法律では、「早期健全化」と「財政再生」の二段階で財政悪化をチェックするとともに、特別会計や企業会計もあわせて連結決算により地方公共団体の財政状況をより明らかにしようとするものです。

○財政再生団体（レドカード）の前に、早期健全化団体（イエローカード）の段階が設けられました

○地方公共団体の本体に公営企業・一部事務組合・第三セクターなども加えて判断するようになりました

○単年度の現金収支に加えて、過去からの累積に基づく基準ができました（将来負担比率）
○公営企業の経営に関して、経営の健全化を促す基準ができました（資金不足比率）



早期健全化団体になると

健全化判断比率指標のいずれかが早期健全化基準を上回ると、財政健全化計画の策定（議会の議決）、外部監査の要求が義務付けられ、計画の実施状況を毎年度議会に公表し、早期健全化が著しく困難と認められるときは知事から必要な勧告が行われます。
（平成20年度決算から適用）

財政再生団体になると

健全化判断比率指標のいずれかが財政再生基準を上回ると、財政再生計画の策定（議会の議決）、外部監査要求の義務付け、計画の実施状況の報告、公表に加え、財政再生計画を総務大臣に協議し、同意を求めなくてはなりません（※1）。また、財政運営が計画に適合しないと認められる場合等において、予算の変更等が勧告されます。
（平成20年度決算から適用）

※1 同意がなければ、災害復旧事業費等を除く地方債の起債が制限されます

経営健全化基準について

早期健全化基準に相当するもので、各公営企業会計の資金不足比率が経営健全化基準を上回れば経営健全化計画の策定が義務付けられます。
（平成20年度決算から適用）

健全化比率の 一般家庭でのイメージ

私たちの1年間の家計に例えると、日々の生活における収入と支出の状況や、現在の借入金と貯金のバランスを比率化したイメージとなります。

例えば、二世帯住宅で暮らすAさん夫婦世帯（一般会計、息子さん夫婦世帯（企業会計）を本別町に例えた場合、

◆**実質赤字比率**
Aさん夫婦世帯の1年間の収入と支出の結果、赤字だった場合、その赤字額が家計規模に対してどの位の割合だったのかを表します。

◆**連結実質赤字比率**
Aさん夫婦世帯、息子さん夫婦世帯の1年間の収入と支出の結果、赤字だった場合、その赤字額がAさん夫婦世帯の家計の規模に対してどの位の割合だったのかを表します。

◆**実質公債費比率**
家族全員の1年間の住宅取得や自動車購入などの借入金返済額のうち、Aさん夫婦世帯が負担した返済額が、Aさん夫婦世帯の家計規模に対してどの位の割合だったのかを表します。

◆**将来負担比率**
家族全員の住宅取得や自動車購入などの借入金残高など、Aさん夫婦世帯が将来負担を予定している費用から貯金を差引いた額が、Aさん夫婦世帯の家計規模に対してどの位の割合だったのかを表します。



平成25年度決算に基づく本別町の 健全化判断比率および資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）第3条第1項および第22条第1項の規定により、本別町における平成25年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率について公表します。

1 健全化判断比率

平成25年度本別町各会計の決算に基づき健全化判断比率を算定したところ、下表のとおり、いずれの指標についても早期健全化基準、財政再生基準を下回りました。

指 標	本 別 町		早期健全化基準	財政再生基準
	平成25年度	平成24年度		
実質赤字比率	- %	- %	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	- %	- %	20.0%	30.0%
実質公債費比率	10.6%	10.8%	25.0%	35.0%
将来負担比率	22.1%	25.4%	350.0%	

※実質赤字比率または連結実質赤字比率は、それぞれ赤字額がないため「-」で表示しています

2 資金不足比率

各公営企業会計における資金不足比率については、平成25年度決算において資金不足を生じた公営企業がないため、該当ありません。

会 計 の 名 称	本 別 町		経営健全化基準
	平成25年度	平成24年度	
水道事業会計	- %	- %	20.0%
国民健康保険病院事業会計	- %	- %	
簡易水道特別会計	- %	- %	
公共下水道特別会計	- %	- %	

※資金不足比率は、資金不足額がないため、「-」で表示しています

○健全化判断比率および資金不足比率については、監査委員の審査に付した後、その意見を付して、9月9日開会の第3回定例町議会に報告いたしました。

ほんべつ学びの日

四つの風

子どもは、「神さまからの贈り物…」
家庭、学校、
地域がともに手を取りあって
神さまからの贈り物を大切に
家族の絆を深め、
仲間と楽しく学びあい、
地域でふれあう
子どもに夢や目標を持たせることは
大切なこと
私たち大人も、子どもと一緒に
学びませんか

学びを「光風、実風、祈風、夢風」
四つの風にたとえた

光風
ひかりかぜ

子どもが明るく豊かに
成長できるように
大人が手をとりあって
子どもを
はぐくもうとする風

実風
みのりかぜ

ふるさとの大地の恵みに感謝し
文化とスポーツに親しみ
健康な心と身体を
つくろうとする力を
はぐくむ風

祈風
いのりかぜ

悲愴な本別空襲を
語り継ぎ平和を祈り
郷土と家族を愛し
命を大切にしようとする心を
はぐくむ風

夢風
ゆめかぜ

自分がか
夢中になれることを考え
未来に大きな目標をもって
生きていこうとする夢を
はぐくむ風

問い合わせ

中央公民館内
ほんべつ学びの日推進本部事務局
☎ 22-5111



午後3時 終了

午後1時30分 映画上映会
「あんじゅとずしおう」「りゅうの目のなみだ」の2本を上映します。

午後1時 ミッチェル訪問団報告会
体験コーナー
親子で楽しむ工作教室、漢字検定にチャレンジは引き続き行います。

午後0時30分 子どもお茶会
伝統文化子ども教室の子供たちがお茶を点てます。
お茶菓子代100円(50人限定)

正午 バザーコーナー
カレーライス (ワインナ添え) を一食300円で提供します。

親子で楽しむ工作教室
割り箸鉄砲等、簡単に作れる物を紹介します。
□太極拳
□漢字検定にチャレンジ
大人もどこまで出来るか挑戦してみませんか。
□ほんべつ〇×クイズ
ほんべつのことをどれだけ知っているかチャレンジ。
□ニュースポーツ体験(町体育館)
昔懐かしい遊びを楽しみませんか。昔の生活を実際に体験していただきます。
□ディスコン・フロアリング等、いつでも、どこでも、誰でも楽しめるスポーツを紹介します。

☆びつくる小物作品ギャラリー(図書館ポラ
ンティア)びつくるの皆さんが作った作品を
展示します)

☆小中学校教科書展(小中学校で使用されて
いる教科書を展示します)

☆輝く人々の写真展(教育委員会で開催して
いる事業の様子を写真で紹介いたします)

雑誌サイクルコーナー 午前8時30分
好きな雑誌をお選びください。

緑 午前8時30分
ポランティアクラブかめが心が込めてポツ
プコーンを無料でお配りします。

ぶつくるカフェ 午前9時30分
図書館ポランティアびつくるの皆さんが本
格的なコーヒーとおいしいジュースを120
円で提供します。

体験コーナーの
参加を希望される人は
当日申し込みは必要
ありません。

□昔遊び・生活体験(町体育館)
昔懐かしい遊びを楽しみませんか。昔の生活を実際に体験していただきます。
□ニュースポーツ体験(町体育館)
ディスコン・フロアリング等、いつでも、どこでも、誰でも楽しめるスポーツを紹介します。

日程

11月15日(土) 午前9時
中央公民館・町体育館
まちの中に四つの風を吹き渡らせよう！

教育委員会では、さまざまな学びの体験をすることで、「学びの日」の取り組みについて子どもから大人までが理解を深め、四つの風をまちの中に吹き渡らせることを目的に『ほんべつ学びの日フェスティバル』を開催します。学びの輪をさらに広げるために、皆さんの参加をお願いします。

「ほんべつ学びの日フェスティバル」 を開催します

展示コーナー

☆小中学校児童生徒作品展(11月21日まで開催しています)

☆ミッチェル訪問団写真展(姉妹都市ミッチェル市を中学生が訪問した様子を紹介します)

☆本別高等学校紹介(学校の様子を写真で紹介いたします)

☆高校生のPOP展(本別高等学校生徒が描いたPOPを)観くたい)

☆ほんべつ学写真絵本展(子供たちが作った写真絵本を展示します)

締結式

災害時協力協定



町と北海道電気保安協会（大内全理事長）による災害時協力協定締結式が10月3日、役場で行われました。

災害時の備えを強化

この協定は、台風や地震等による大規模停電のほか、大規模火災や爆発等の重大事故が発生および発生する恐れがある場合、町の要請により、役場や避難所など町が管理する公共施設における電気設備の迅速な応急復旧、または保安確保のための電力復旧の可否の判断、復旧工事の管理、監督、指導および検査など、復旧に必要な協力体制について定められています。

締結式では、高橋正夫町長と大内理事長がそれぞれ締結書に署名を取り交わし、協定の締結が行われました。高橋町長は、「電気は町民の生活に欠くことのできないもので、協力に感謝します」と感謝の言葉を述べ、大内理事長は「災害時の電力復旧は協会の公益的役割であり、万一の時は全力で支援します」と話しました。

同協会と十勝管内自治体との協定締結は6市町目となり、災害時の電力確保に関する備えの強化を目的としています。



協定書に署名する高橋町長と大内理事長

子どもの笑顔があふれるまちづくり Part 6

幼稚園ってこんなところ

幼稚園は、子どもが初めて出会う学校です

幼稚園は、学校教育法により「義務教育およびその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長すること」を目的としています。

本別町には、私立の本別カトリック幼稚園があり、今号では、幼稚園の様子を紹介します。



人との関わりを大切に

本別カトリック幼稚園では、異年齢保育を基本に、同年齢保育も併用し、幼い子を思いやったり、年上の子に憧れたりしながら、子供たちが他の人との関わり方の基本を学ぶことができますよう努めています。

特に

- ①自分でやってみようとする心
 - ②友達を思いやる心
 - ③自分が何かの役に立つことの喜びと自信
- が、子供たちの中に育つような保育を目指しています。

本別カトリック幼稚園の一日

- 9:00～ 登園、自由遊び
- 9:40～ お片付け・体操
- 10:00～ 朝のお始まり（お祈り）
- 10:30～ クラス活動（横割り保育）
- 11:30～ 昼食
- 12:30～ 自由時間
- 13:30～ お片付け、お帰りの用意
- 14:00～ 降園



動物園見学の様子



防火PRで放水体験

一年の主な行事

- ・入園式 ・ 個人面談 ・ 内科歯科検診 ・ 遠足 ・ 運動会
- ・ お泊り保育 ・ 父親参観（父子登山） ・ 動物園見学
- ・ クリスマスお遊戯会 ・ 作って遊ぶうの日

その他、体育指導教室（全園児・年5回）、英語教室（年長児、年20回）、毎月のお誕生会、季節の行事などを行います。

平成27年度、4月からの入園申し込みについては、11月15日号くらいの情報紙がはしてお知らせします。

問い合わせ

本別カトリック幼稚園

011-262-0200

HELLO 農業大学校

前期を振り返り、 農大の魅力を ダイジェストで紹介!

農大祭・体育祭



大人気の農大牛焼き肉 豪華景品ビンゴ大会 重い!ローレルがし

6月28日～29日の2日間、第41回農大祭を「おもてなっし〜」をテーマに開催しました。1日目は体育祭を行い、2日目の一般公開は、早朝に雨が降り、どうなることかと思ったのですが、開催時間前には青空が広がり、祭り日和となりました。焼き肉やビンゴ大会など地域の方々も大いに楽しみ大盛況のうちに終了することができました。

農大行事フォトアルバム

入校式 4月7日 強歩大会 5月23日 北の農学校 7月4日



入校生代表宣誓 32.195km激走 本別中央小学校3年生が参加

本別肉祭り 7月20日 オープンキャンパス 8月1日 道の駅即売会 8月6・12日



大人気の加工品を販売 学生が説明する施設見学 地域の方々にも大好評

健やかな成長願い、 積み木をプレゼント

9/23

今年度から新たに始まった誕生記念品「積み木」の贈呈が9月23日、乳幼児4か月健診に合わせて健康管理センターで行われました。この積み木は本別産の木材等が使用され、本別町の豊かな森林資源の利活用を推進するとともに、本別町で生まれた子供たちに木と触れ合いながら健やかに成長してほしいとの願いが込められています。贈呈は今年4月以降に生まれた赤ちゃんを対象としており、この日は6人の赤ちゃんにプレゼント。贈呈の第1号となった山田果澄ちゃん(押帯)のママ優子さんは「いい記念になりました。積み木は今



すぐは使えないけれど子どもの頭の体操にもなるので大切に使います」と話し、笑顔を見せていました。

ハチマキ、法被身に 付け「火の用心!」

9/22

本別カトリック幼稚園幼年消防クラブ防火フェスティバルが9月22日、同園および町内で行われました。同園の年長、年中の幼児26人は、園内での火災発生を想定し、煙の中を避難する訓練を行った後、火の用心と書かれたハチマキと法被を身に付け、本別消防団の女性消防団員とともに南1丁目から北3丁目の商店や事業所を訪問。「火の用心お願いします!」と元気な声で火災予防を呼び掛けました。



火災予防標語・ポスターを表彰

10/7

平成26年度防火標語・防火ポスターコンクール入賞者の表彰式が10月7日、町内3小学校で実施されました。このコンクールは、本別町防火管理者連絡協議会(三好喜美雄会長)、本別町危険物安全協会(朝日基光会長)が本別ライオンズクラブ(前田芳雄会長)の協賛を得て、町内の小学校4年生から6年生を対象に防火標語と防火ポスターを募集。標語98編、ポスター101作品の応募の中から、火災予防へのメッセージが込められた標語16編、ポスター16作品が入賞し、表彰式では、朝日会長から一人ひとりに賞状などが手渡されると、児童らは喜びの表情を浮かべていました。入賞作品は中央公民館ロビーにて防火標語・防火ポスター展として展示されたほか、防火ポスターの部最優秀賞(本別町防火管理者連絡協議会会長賞)の作品は、防火ポスターとして印刷され町内各事業所に掲示されています。入賞者は次の通り(敬称略)。



中央小学校

【防火標語の部】

本別町防火管理者連絡協議会会長賞＝「火をつけた 君が消さなきゃ だれが消す」山下弓葵乃(男足小6年)
本別町危険物安全協会会長賞＝「その火事は あなたの笑顔 うばいます」平尾弥玖(本別中央小5年)
本別ライオンズクラブ会長賞＝「大切な 命を火事で うしなうな」佐藤初音(本別中央小4年)

【防火ポスターの部】

本別町防火管理者連絡協議会会長賞＝山田凌士(仙美里小6年)
本別町危険物安全協会会長賞＝加藤絵里(仙美里小5年)
本別ライオンズクラブ会長賞＝塚田和葉(本別中央小4年)



意見交流を通じ、 学び合う

10 17

北海道へき地・複式教育連盟主催による第63回全道へき地複式研究大会十勝大会第8分科会が10月17日、仙美里小学校（寺島康博校長・30人）を会場に開かれました。分科会には、十勝管内外の教諭など約50人が参加し、創意工夫しながら少人数の利点を生かした授業の様子を見学。開催校を代表して原政之教諭が、「進んで考え、思いを伝え合う子どもの育成」の研究主題に基づいた、普段の授業実践や検証、取り組みについて研究発表を行いました。参加した教諭らは、同小学校の全教諭が一丸となって進めてきた実践研究の取り組みや意見交流を通じ、今後のへき地複式教育のあるべき姿について、学び合いました。



新鮮な農畜産物を販売

10 18

北海道立農業大学校（加藤和彦校長）による農大市が10月18日、同校で開かれました。会場では、生徒たちが丹精込めて育てた野菜や牛肉のほか、仙美里ヶ丘ブランドの商品など全27種類を販売。じゃがいもの詰め放題や野菜セットが当たるビンゴゲーム大会も行われるなど、町内外から訪れた多くの来場者が新鮮な農畜産物をたっぷり買い求めていました。



火災予防を訴えて

10 15

秋の火災予防運動（10月15日～31日）防火パレードが、運動日初日の10月15日、午前9時のサイレンとともに実施されました。出発式では、高橋正夫町長が「無火災無事故を目指して、啓発活動に励んでください」とあいさつ。消防車両や本別町危険物安全協会会員車両の計20台が消防署前を出発し、火災予防を訴えながら町内約5kmをパレードしました。



仕事の大変さや 楽しさを学ぶ

10 17

本別高等学校の1年生が10月16日、17日に本別町や足寄町にて、職場体験実習を行い、仕事の大変さや楽しさを学びました。本別町特別養護老人ホームを訪れた、同校の田野和良さん、西美里さんは、同老人ホームの職員から車椅子の押し方の指導を受けたり、入所者との会話を通して、「お年寄りとのコミュニケーションのとり方がわかった。改めてこの職業に憧れを抱いた」など、2日間を通しての感想を語りました。

※この記事は、職場体験で役場を訪れた本別高等学校1年の宮野真衣さんが取材し書いたものです



話して聴いて、 リフレッシュ！

10 10

家庭教育支援事業「なかよし」によるリフレッシュ講座2回目が10月10日、健康管理センターで開かれました。この講座は、カウンセラー圓山嘉都美さんを講師に、聴くこと、話すことに重点を置き、子育て中のママが家族との関係を見つめ直しながら自分の心をリフレッシュさせていくもの。この日は参加者7人が話を聴く人、話す人に分かれて「私の好きな食べ物」について語り合い、相手の話を聴く時のポイントを学ぶなど楽しい時間を過ごしました。



ツツジを植樹

10 12

帯広トヨペット（若林剛代表取締役）による「ふれあいグリーンキャンペーン」苗木贈呈式および記念植樹が10月12日、義経の里本別公園で行われました。これは、トヨタ自動車とトヨペットが共同で地域に根ざした社会貢献活動の一環として実施されているもので、昨年続き2回目。同トヨペット村瀬宏司専務取締役が砂原勝副町長へエゾムラサキツツジの苗木60本と災害備蓄用飲料水576ℓの目録を手渡し、村瀬専務取締役と砂原副町長、トヨペット本別店の社員などが同公園ステージ前にエゾムラサキツツジをきれいに植えました。



ボランティア 活動に汗

10 8

シンレキ（高荷三千雄代表取締役）が地域貢献活動の一環として10月8日、銀河アリーナおよび同アリーナに隣接する公営住宅の駐車場において駐車桟ライン引きを実施しました。作業を行った従業員3人は、白線を丁寧に引き、ボランティア活動に汗を流しました。



特別支援教育への 思いを語り合う

10 9

町民と町長の直接対話「町長がおじゃまします」が10月9日、本別町特別支援教育振興会（山田仁会長）交流研修会に合わせて本別中央小学校で開かれました。同振興会は、町内小中学校で特別支援教育を担当している教諭や養護教諭などで組織しており、研修会には21人が出席。「本別町特別支援教育について」と題し、高橋正夫町長が自身の子育て経験やこれまで本町で取り組んできた特別支援教育への思いなどを語り、参加した教諭からは、「障がいのある子どもない子ども共に学ぶ体制づくりを進めてほしい」などと要望が出されました。



みんなの健康

363

診察を受けるとき、誰もが「つらい症状を和らげてほしい」「早く病気を治してほしい」と望んでいると思います。でも、自分自身

上手な医者のかかり方 —あなたが命の主人公— からだの責任者—

「これからの見通しを聞きまじょう。」
「これからどうなっていくのか、どんな治療をするのかなどを聞きまじょう。見通しが立てば、自分が何をすべきか分かります。あなたの「ゆくなつた」「悪くなった」など大切な情報、情報を伝えあうことが大切です。○大事なことはメモをとって確認

「つらい症状を和らげてほしい」「早く病気を治してほしい」と望んでいると思います。でも、自分自身

「これからの見通しを聞きまじょう。」
「これからどうなっていくのか、どんな治療をするのかなどを聞きまじょう。見通しが立てば、自分が何をすべきか分かります。あなたの「ゆくなつた」「悪くなった」など大切な情報、情報を伝えあうことが大切です。○大事なことはメモをとって確認

同席したスタッフにメモを見せて確認

「これからの見通しを聞きまじょう。」
「これからどうなっていくのか、どんな治療をするのかなどを聞きまじょう。見通しが立てば、自分が何をすべきか分かります。あなたの「ゆくなつた」「悪くなった」など大切な情報、情報を伝えあうことが大切です。○大事なことはメモをとって確認

「これからの見通しを聞きまじょう。」
「これからどうなっていくのか、どんな治療をするのかなどを聞きまじょう。見通しが立てば、自分が何をすべきか分かります。あなたの「ゆくなつた」「悪くなった」など大切な情報、情報を伝えあうことが大切です。○大事なことはメモをとって確認

「これからの見通しを聞きまじょう。」
「これからどうなっていくのか、どんな治療をするのかなどを聞きまじょう。見通しが立てば、自分が何をすべきか分かります。あなたの「ゆくなつた」「悪くなった」など大切な情報、情報を伝えあうことが大切です。○大事なことはメモをとって確認

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいいうちの子たちです。お父さん、お母さんのためにその愛をこめて育ててあげよう。



北郷 山田 果澄 (優子)



北郷 伊藤 菜花 (夏海)



東町 加藤 斗馬 (由紀)



緑町 花見 香乃 (有美)



※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

記事の訂正について

2014年10月号 (No. 1032) で、「平成26年度本別町開町記念式典・功労者表彰」の記事の中で、高瀬祐司さんの功績を「錦町自治会長として」と掲載していましたが、正しくは「緑町自治会長として」でした。また、前議員の戸田徹さんの町議会の功績で、「産業厚生常任委員会委員長」が抜けていましたので、訂正お詫びいたします。

銀河ホップアップ

足寄町

第35回足寄町女性のつどい

精神科医の名越康文さんをお招きしての講演のほか、アートセラピー講座や赤十字バザール、特産品販売なども行います。どなたでも参加できますので、ぜひご来場ください。

□とき 11月30日(日)
午前10時～午後3時

□ところ 足寄町民センター
□内容 開会式・オリエンテーション
午前10時30分～
講座「アートセラピー」講座

陸別町

驚き！おもしろ科学実験2014

実験やミニ講演会など、子どもから大人まで楽しめる内容です。皆さまのご来館をお待ちしております。

□とき 11月15日(土)
午後1時～午後6時

□ところ 銀河の森天文台(陸別町宇遠別)
□内容 「実験」コーナー 午後1時～午後6時
・ミニ講演会 午後2時
「陸別はなぜ冷える？」
「益地冷却とそのしくみ」
講師 北海道立オホーツク流水科学センター 高橋修平 所長

陸別町から

講師 千葉千栄美氏「アートセラピー」
午後1時～
講演「心がグッと軽くなる瞬間の心理」
講師 名越康文氏 (精神科医)
午後2時30分～ 閉会式
※健康サポート「いきいきおすすめ」メニューの試食提供も併せて行います。

□参加料 無料
※昼食を希望する人は別途700円がかかります。
□その他 託児所を設置します。「ご希望の方は11月17日(日)までにお申し込みください」。

□申込先・詳細 足寄町教育委員会生涯学習室
☎2513188

※開館中は、通常観望も行っていきます
銀河の森天文台
☎2718100

ご寄付ありがとうございます 平成26年9月16日から10月15日

次の通りご寄付をいただきました。紙上をかき添えて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★老人ホーム指定
金62,870円 …… 仙美里元町 佐々木徳子
ボックスティッシュ 60箱
…………… 本別民謡好友会 代表 前田 繁
ジャガイモ 20kg …… 勇足西4 加藤 寛治
- ★本別町指定
災害備蓄用飲料水 576ℓ (1.5ℓ×384本)
… 帯広トヨベツ株式会社本別店 代表取締役社長 若林 剛
- ★本別公園指定
エゾムラサキツツジの苗木 60本
… 帯広トヨベツ株式会社本別店 代表取締役社長 若林 剛

- ★本別町国民健康保険病院医療施設等整備基金指定
金2,000,000円 …… 勇足東4 牧田 信子
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
金22,517円 …… 上本別 小川グループ親睦会
金10,000円 …… 神奈川県 鈴木周治
金30,000円 …… 埼玉県 株式会社 工房
金10,000円 …… 東京都 岡田 孝一
金100,000円 …… 美里別西中 伊藤 巖
金10,000円 …… 広島県 西 嶋 浩一
金30,000円 …… 千葉県 東 勝 夫
金10,000円 …… 石川県 平 山 雅通
金10,000円 …… 東京都 銭 谷 真常
金10,000円 …… 栃木県 石 嶋 浩治
金10,000円 …… 埼玉県 洪 谷 浩
金10,000円 …… 白老町 志 田 健
金10,000円 …… 神奈川県 木 村 淳
金320,000円 …… 匿名 23人

本のある暮らし 164

本の点検は大事

戸籍のまど

お誕生

9月後半から
10月前半の
届出分

- 横山風奏^{ふう か} 佳純^{か純} 9/5 勇足元町
- 藤川昇弥^{しょう や} 雅和^{あやわ} 10/1 柏木町
- 向井大海^{ひろ み} 純也^{じゅん} 10/1 北2丁目
- 鈴木稟望^{りょう のぞみ} 公二^{こうに} 10/2 向陽町

おくやみ

- 西山美江子^{みえこ} 80歳 9/17 栄 町
- 宮本義輝^{よしかげ} 42歳 9/23 南4丁目
- 大和田武夫^{たけお} 69歳 9/24 緑 町
- 伊藤ハツエ^{はつえ} 98歳 9/27 美里別西中
- 高澤孝子^{たかさわ} 70歳 9/27 南4丁目
- 福地千世^{ちよ} 33歳 9/28 月見台
- 小坂利昭^{りしやう} 85歳 10/4 北7丁目

図書館では、9月16日（火）から9月19日（金）までの4日間休館し、一冊一冊の本のバーコードを読み取り、違う棚に本が戻されていないか、破損している本が無いかを確認しました。8月末の蔵書数は58,736冊で、点検の結果、なくなっていた本は2冊と少なく、破損した本もありませんでした。休館中には、書架の整理や話題の本、さまざまなテーマにそった本の展示変えも行っていますので、これからも図書館をたくさん利用してください。

図書館蔵書点検の様子



本のバーコードを慎重に読み込んでいきます



パソコンの画面を見ながら、バーコードの読み込みを確認します

本別中央小学校の図書室にも、児童の皆さんにたくさんの本に触れてもらえるよう、団体貸出をしています。ブック委員会の皆さんが、書架の整理や点検、本の入れ替え作業を定期的に行っています。

中央小学校図書室での作業の様子



本の点検作業って大変だなあ



みんなが、見やすいように本を並べなくちゃ

わたしたちのまち

前月比
 人口 7,774人(-9)
 男 3,831人(-5)
 女 3,943人(-4)
 世帯数 3,764戸(-3)
 〔9月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先
本別町図書館
 (愛称:ぶつくる一丸)
 本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112